

マイ・タイムライン

自分が水害時にとるべき行動をあらかじめ決めておくもの。

マイ・タイムラインは台風の接近等によって河川の水位が上昇するときに、自分が「いつ」「何をするのか」を整理し、いざというときにあわてず避難するための個人の防災計画です。この下野市洪水ハザードマップを活用しながら、家族で話し合いマイ・タイムラインを作成してみましょう。

気象庁の防災情報ページでは、様々な災害情報等を確認することができます。
「キキクル（危険度分布）」のページでは警戒レベルを確認することができます。



気象状況	河川の状況	警戒レベルと気象庁等の情報	住民が取るべき行動
大雨の数日～約1日前	自分がいる場所で雨が降っていないなくても、上流で雨が降れば川が増水する恐れがあります。	LEVEL 1 早期注意情報	災害への心構えを高める ・テレビ、インターネット等で天気予報を確認。 ・防災グッズの確認(不足している場合は買い足す)。 ・事前に車の給油を済ませておく。
大雨の半日～数時間前 ・雨や風がだんだん強くなり、雨水が集まり、河川の水位が徐々に増える。 ・家の床下浸水の恐れ。	水防団待機水位 ・河川が増水し、河川敷にも水が流れ、道路が冠水する恐れ。 氾濫注意水位 ・河川が溢れる恐れ。	LEVEL 2 大雨注意報 洪水注意報	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅の災害リスクと避難情報等の取得方法を再確認。 ・家の周りに風で飛ばされそうなものがないか確認。 ・家族全員の今後の予定をもう一度確認。 ・避難に時間がかかる場合は避難の準備を開始。 ・万一に備え、友人や親戚に避難の受け入れについて相談確認。 ・友人・親戚宅へ避難開始。
大雨の数時間～2時間程度前 ・河川の更なる増水による氾濫。 ・道路の冠水。 ・家の床上浸水の恐れ。	避難判断水位 ・河川の水が堤防を超える恐れ！	LEVEL 3 高齢者等避難 大雨警報 洪水警報	危険な場所から高齢者は避難 ・避難に時間がかかる高齢者や障がいのある方は避難を開始。 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、避難の準備をしたり、自主的に避難。 ・市のホームページやメール配信で避難情報を確認。 ・テレビ等で洪水予報を確認。
大雨となる。 大雨が一層激しくなる。	氾濫危険水位 ・河川の水が堤防を超える前に、安全な場所へ避難！	LEVEL 4 避難指示 氾濫危険情報	危険な場所から全員避難 ・台風等により暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。 ・事前に避難所へ避難する。または、自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保する。 ・市のホームページやメール配信で避難指示を確認する。
数十年に一度の大雨	氾濫が発生 最新の河川水位はP2の水位観測所で確認しましょう！	LEVEL 5 緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。

警戒レベル4までに必ず避難！

雨風が強くなる前に行うことを完了させるとき。

水位等の状況を把握しつつ、避難行動を開始するとき。避難に要する時間に応じて

身の安全を確保すべきとき。

1.自宅の浸水の深さを調べよう！自宅をマップで探し、色を確認しましょう！ P7～30

【姿川・新川_____m】【姿川・黒川・思川_____m】【姿川・思川_____m】

【鬼怒川・田川・江川・武名瀬川_____m】【田川・田川放水路・鬼怒川・江川_____m】

【田川_____m】【江川_____m】【鬼怒川_____m】

家
マイ・タイムライン
作成日 年 _____ 月 _____ 日

2.最も浸水が大きい河川は？ _____川
P31～34で該当する河川の浸水継続時間を確認しましょう！
日 _____ 時間

3.この河川の水位観測所は？ P2
災害の時にはこの地点の最新の水位を確認しましょう！
地点 _____

4. P4の「浸水の深さと継続時間に関する避難行動」を参考に、自宅内の高い安全な場所、または避難先を決めておきましょう。
1. _____
2. _____

記入例	マイ・タイムライン
<ul style="list-style-type: none"> ・家族の今後の予定を確認する。 ・備蓄品を確認する。 ・ガソリンを入れておく。 ・常備薬を確認する。 ・携帯電話を充電する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・植木鉢や物干し竿等を室内に取り込む。 ・浸水が想定される実家の両親へ連絡する。 ・貴重品をまとめておく。 (現金、通帳、印鑑、重要な書類等) ・実家の両親を迎えに行く。 ・いここに家に避難させてもらえるか相談する。 ・隣の1人暮らしのおばあちゃんに声をかける。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の2階へ備蓄品を移動する。 ・あらかじめ大事なものを高い所へ避難させる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・建物の2階以上への移動を完了する。 ・テレビやインターネットで最新の災害状況を確認する。 	

すでに災害が発生していてもおかしくない状況
・テレビやインターネット等で洪水情報を確認。
・外に出ず、自宅内の安全な場所へ待機。

災害が発生する前に
記入例を参考に、避難時の行動を記入してみましょう。家族構成やペットの有無等によって、様々なマイ・タイムラインができあがります。

災害時はマイ・タイムラインどおりに行動できるとは限りません。行動の目安として備えましょう。気象情報や避難情報はこまめにチェックしましょう。